

自治体政策研究会 ジチラボ通信

vol.13

2021年 1月発行

自治体政策研究会事務局
jichilabo@gmail.com
代表 西脇 邦雄

第13回自治体政策研究会（WEB配信）ご案内

- 配信日時：2021年1月23日（土） 午後2時～4時00分
- 配信方法：Youtube 限定配信 ※参加者のみに配信 URL をお知らせします
- 講師：金谷 一郎 氏 大阪経済法科大学客員教授
富田 一幸 氏 エル・チャレンジ代表理事
武 直樹 氏 大阪市議員・いくの市民活動支援センター代表理事
- テーマ：「総合区ってなに？～地域自治区からはじめてみよう」

共催：自治フォーラムおおさか

日頃のご協力に感謝申し上げます。

自治体政策研究会では、2015年以來「巨大な住民投票が問いかけるもの」をテーマに活動を続けて来ました。それは、大阪都構想の問題提起が、戦後の地方自治法改正で書き込まれた、特別市制度を求める5大都市と反対する府県の対立という地方自治の根幹にかかわる問題を含んでいるからです。ゆえに冷静な議論の必要性を訴えてきました。

幸いに2度目の住民投票で大阪市は存続がまかりましたが、数多くの論点も示されました。特に都構想のコストや分割による財源不足だけでなく、特別区間の格差が争点になりました。背景には、環状線の内外格差、インナーシティ問題があります。また、介護保険の一部事務組合化や、社会福祉協議会の廃止など、今後の大阪市の介護や地域福祉、生活困窮者の支援のあり方や、外国籍住民の参加も論点になりました。

大阪市長の松井さんと大阪府知事の吉村さんは矢継ぎ早に「広域一元化条例」「総合区条例」を打ち出しています。この提案が、議論となった課題を解決することになるのか。総合区は住民自治と大阪市の抱える問題にプラスとなるのか。まずは、住民投票では問われなかった、「総合区」に注目し、議論を深めたいと思います。皆様のふるってのご参加をお待ちしております。

【各講師 担当テーマ】

- 金谷一郎氏 シティーマネージャー・区長の総括と総合区の評価
- 富田一幸氏 総合区を考える～西成特区構想を拡充する視点から
- 武直樹氏 市議会の議論と住民自治の視点から

QRコードまたはFAX・メールで【第13回研究会申込】とし

①氏名 ②電話番号 ③メールアドレス をお伝え下さい



- 申込締切：1月17日（日）
- 配信URL送付はお申し込み後、後日となります
- メール jichilabo@gmail.com（自治体政策研究会事務局）
- FAX 06-6752-3391（西脇くにお生野事務所）

●講師：金谷一郎氏



●講師：富田一幸氏



●講師：武直樹氏



●総合司会：西脇邦雄

